

2010 (平成 22)

びらとり

5
No.595

チームは、ぼくたちにまかせろ！

～北海道日本ハムファイターズフィールドクラブ～



町民総合グラウンド (5月5日)

平取町アイヌ文化基本計画

私たちのふるさと平取町は、古より沙流川の畔に栄えた

アイヌ文化の華咲く地域であり、この文化の振興を図ることは町に強い活力を与える重要な施策の一つです。

近年、世界的に先住民族の存在を尊重する機運が高まり、平成19年9月に「先住民族の権利に関する宣言」が国際連合で採択されたことに続いて、日本でも平成20年6月には、「アイヌ民族を先住民族とすること」を求める決議¹が衆参両院本会議において可決されました。それらをふまえ、政府は「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」を設け、平成21年7月にその報告を得て今後のアイヌ政策に関する指針とし、総合的かつ効果的なアイヌ政策を推進するため、平成22年1月からアイヌ政策推進会議を開催してきています。

平取町においては、北海道アイヌ協会平取支部、平取アイヌ文化保存会、平取町二風

谷アイヌ語教室など多くの

方々の努力の積み重ねによつて、貴重なアイヌ文化が保存され、さらには

文化的景観保全事業、平取ダム地域文化調査業務の実施に加えて、平成20年度からイオル（伝統的生活空間）再生事業がスタートし、アイヌ文化に関する各種調査・保全並びに振興対策も進められてきています。

このような状況を背景にして、学識者や北海道アイヌ協会平取支部役員をはじめとした検討会議（座長：辻井達一、北海道環境財団理事長）を設置し、アイヌ文化の振興施策のあり方について協議をすすめ、「平取町アイヌ文化振興基本計画（以下「基本計画」）」を本計画（以下「基本計画」）を本年3月に策定しました。今後は、この基本計画をもとにして、各種施策を推進することになりますので、計画の概要をお知らせします。

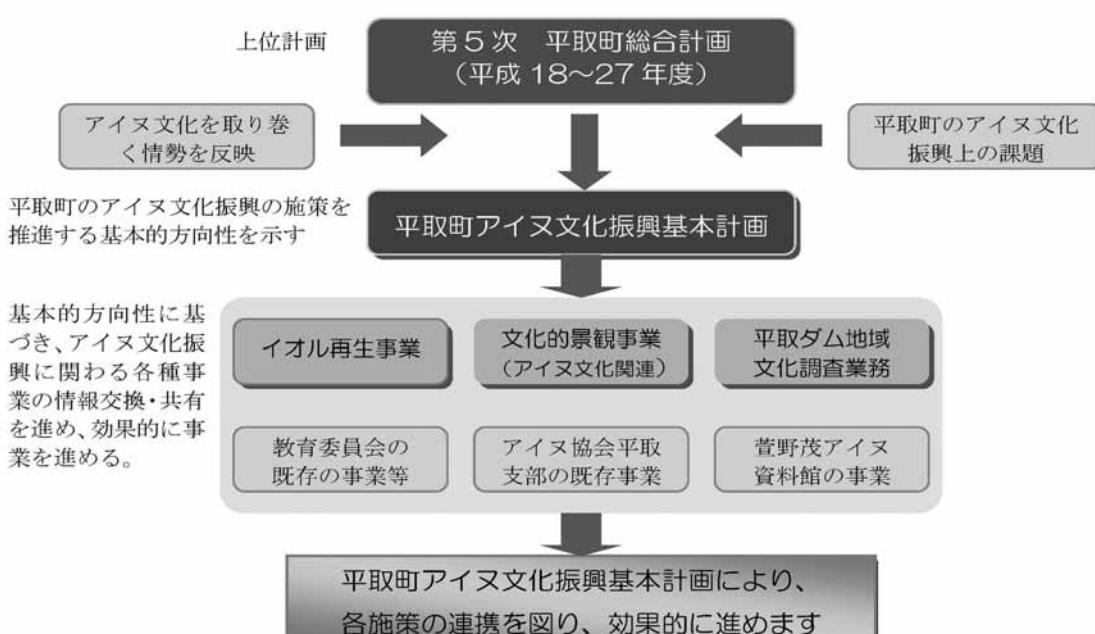
基本計画の位置づけ

基本計画は、第5次平取町総合計画を上位計画とし、アイヌ文化を取り巻く情勢や課題を踏まえ、各種施策の基本的方向性を示すもので、イオル再生や文化的景観、平取ダム地域文化調査3事業での情報交換・共有を行い、他の機関・団体の既存事業とも連携を図り、効果的な施策を推進しようとするものです。

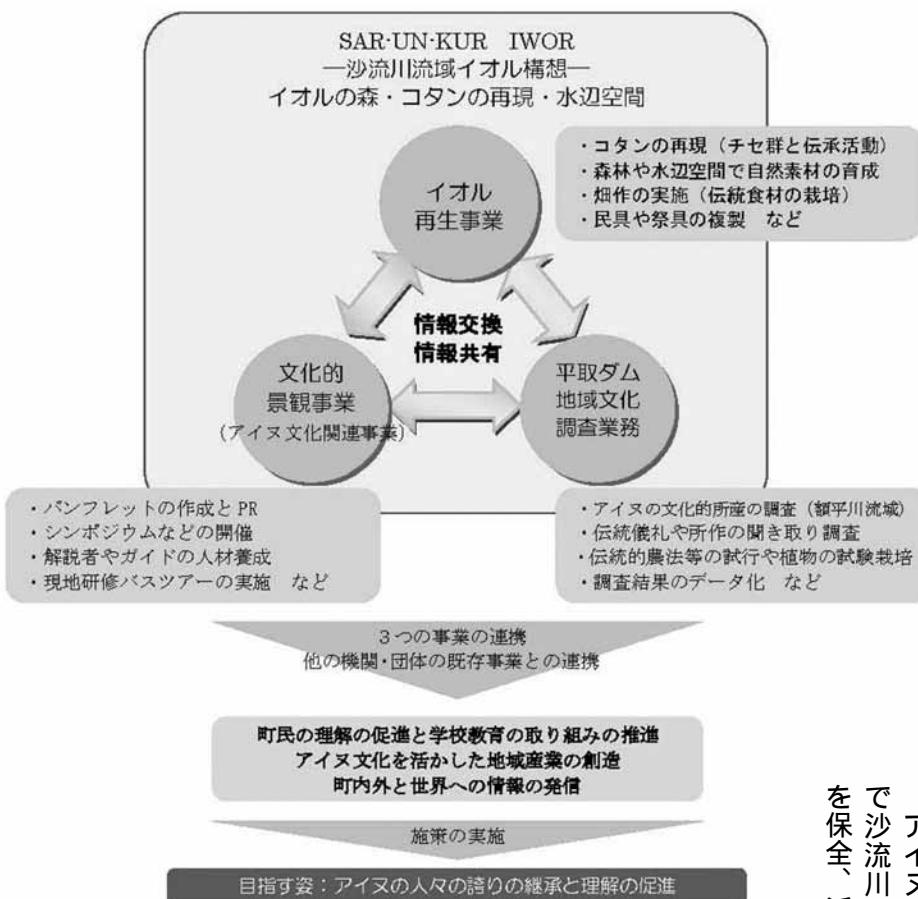
基本計画の目的と基本理念

平取町は、アイヌ文化発祥の地であり、沙流川の豊かな自然環境によって育まれたアイヌ文化の栄えた地で、遺跡などが数多く残る地でもあります。その中で、アイヌの人々は、中世からさらに明治以降の国²の政策で受けた差別などにより失いつつあったアイヌ文化を守り、今なお誇りをもつて受け継いでいる。

基本計画の位置づけ



平取町アイヌ文化振興の施策と推進体制



しかし、一方でアイヌ文化が、町民全体に十分理解されている状況とは言えず、地域の大切な文化という意識は希薄と思われます。また、他の地域に比べアイヌ文化の伝承者は多いものの、高齢化が進み担い手不足などの課題も抱えています。

こうした状況から、基本計画では「アイヌの人々の誇りの継承と理解の促進」を図ることを目的とし、「現代社会の暮らし方を尊重しつつ多様な文化が共生・共存しながら創りで豊かな地域社会を築いていくこと」を基本理念としています。

基本計画の目指す姿

基本計画の目的、基本理念に沿った施策を進め、次の7点のまちづくりを目指します。

アイヌ文化を町民が理解し、親しみ、関わりを持ちながら大切にしているまちへ

アイヌ文化に関する学校教育を積極的に進めるまちへ

アイヌ文化との関わりの中で沙流川のおりなす自然景観を保全、活用するまちへ

アイヌ文化を学び、知るための情報が蓄積され、発信されるまちへ

アイヌ文化を拠点として多くの人々が訪れるまちへ

アイヌ文化の継承環境が整い、担い手が育つまちへ

主な施策と推進体制

目指す姿の達成に向け、イオル再生・文化的景観・地域による交流産業の推進、新たなツーリズムの発掘と創造、文化調査3事業の連携をはじめとした町内各種の事業連携により、「アイヌ文化の調査研究」、「普及啓発」や「教育の推進」、「沙流川の自然景観の保全や創出」、「情報発信と拠点整備」、「担い手育成や組織づくり」、「地域資源を活用した産業の推進」などの施策を進めています。

その推進体制として、現状組織を改組して、学識者を含めた平取町アイヌ文化振興推進協議会を発足し、その下に関係機関・団体の代表者やアドバイザーと、町づくり団体などの町民を加えた検討会を設置して具体的に推進していきます。また、それを支援する専門家のネットワーク化も図ることとしています。

以上、基本計画の概要を知らせましたが、今後検討すべき課題も少なくありません。多くの皆様のさらなるご理解とご協力をお願いします。

芸の振興や食文化の活用、アイヌ文化の見学や体験などと他の地域資源との組み合わせによる交流産業の推進、新たなツーリズムの発掘と創造、精神文化の拠りどころとなる自然環境の保全と継承対策などを想定しつつ、本年度から先行プロジェクトを試行していきます。

アイヌ文化の息づく地域産業が形成されるまちへ

先行プロジェクトの試行

先に挙げた施策を、充実した取り組みとして進めて行くためには、先行プロジェクトの計画が必要と考えています。具体的には、アイヌ伝統工



この基本計画を進めていくの皆様のさらなるご理解とご協力をお願いします。



力作ぞろいの作品展

人物クロッキー会 (4/13 ~ 20)

人物クロッキー（見たまま、感じたままを短時間で書く写生、動きの一瞬をとらえて素早く描いたりすること）作品展が、ふれあいセンターびらとり内で開催されました。期間中28点の力作が展示され、来場者の目を楽しませました。

人物デッサン学習を目的とする有志の集まり『クロッキー会』は、沙流川アート館で活動を行っています。興味のある方は沙流川アート館 児玉美和子さんまで (☎ 2-2127) お問合せください。

早く、大きくなつてね

すくすくクラブ (4/21)

離乳期のお子さんとそのお母さんを対象に、今年初めての『すくすくクラブ』がふれあいセンターびらとりで開催されました。

この日、集まったのは15組。参加者の自己紹介から始まり、子どもの身体測定、お母さんたちの離乳食作りに試食会と進められました。離乳食作りの間、お母さんと離ればなれでご機嫌斜めだった子も、試食会では大きなお口を開けて、元気いっぱいに食べていました。

町の藤谷栄養士は「特に離乳期の食事はとても大切。この会は情報交換等の場でもあるので、たくさんの方に参加してほしい」と話していました。



横断歩道、上手に渡れたかな？

紫雲古津小学校 青空教室 (4/26)



入学式が終り、新1年生が元気に登校するこの時期、町内の各小学校や保育所で交通ルールを学ぶ青空教室が実施されました。

紫雲古津小学校では、全校児童26名がグラウンドで横断歩道の渡り方などを練習し、その後1・2年生は実際に国道に出て横断歩道を渡ってみました。一所懸命左右を確認している間に信号が変わり、渡れなくなる場面もありましたが、道行くドライバーさんたちも優しく見守ってくれました。



青空を元気に泳げ鯉のぼり 荷菜老人クラブ豊寿会 (4/27)

子どもたちの健やかな成長の願いを込めた鯉のぼりが、今年も荷菜地区研修センター近くで泳ぎ始めました。

これは、豊寿会（橋本勝顕会長）の方々が家庭で使わなくなった鯉のぼりを集めて揚げたもの。『ニナ』の地区名にちなみ『27日』『27匹』にこだわっています。

清々しい青空と風に恵まれたこの日、鯉のぼりを見上げる会員たちは童心に返ったかのようでした。

頑張って歩きました 7km の道 振内親子ハイキング (5/5)

絶好の行楽日和となったこどもの日、振内自治会主催の「親子ハイキング」に約 60 名が参加しました。

振内町民センターから振内中学校を経て仁世宇まで、交通安全の啓発をしながら歩きましたが、子どもたちは疲れる様子もなく、元気に先へ先へと走っていました。

到着後は、山女魚の釣り大会や稚魚約 1,500 匹の放流に歓声を上げ、昼食には釣った魚のから揚げや豚汁に舌鼓を打っていました。

子どもの幸せを願う祝日に、親子で楽しい時間を過ごしたようです。



緑ゆたかなまちづくり グリーンフェスティバル (5/15)

爽やかな五月晴れの中、第 22 回グリーンフェスティバルが旧豊糠小中学校周辺で開催されました。

開会式では、振内小学校の若菜 華さん（5年生）・芽さん（3年生）姉妹により『緑の宣言』がなされました。

参加者約 80 名がスコップを持ち、協力しながら町木のカツラやエゾヤマザクラなど合計 56 本を植樹しました。

植樹を終えた参加者一人ひとりの心には、より一層、自然を愛する心が芽ばえたようです。

交通安全対策に車両を寄贈 全国共済農業協同組合連合会 北海道本部 (5/18)

J A 共済では、農村地域等における交通事故対策事業に積極的な取組みを行っていますが、今年度は全道の自治体及び交通安全団体に交通安全指導車等の寄贈を行うことになりました。

当町においても、平取町農業協同組合の仲山浩組合長から車両の目録が渡され、川上町長は「交通安全のため、大切に使わせてもらいます」とお礼を述べていました。



教育委員会からのお知らせ

変わりつつある学校給食

～栄養教諭を中心とした食育推進の取り組み～

1. 食育基本法の制定

近ごろ食を巡る様々な問題とともに「食育」という言葉を耳にすることが多くなりました。町内でも「食育」をテーマとした催しが行われる中、「平取町食育推進計画策定委員会」が組織され、策定作業が始まりました。

食をめぐる問題の多くは、戦後の60年を越える長い歴史の中での食生活やライフスタイルの変化に近年の社会経済のグローバル化が相まって、その深刻度を増したものと言えますが、「食育」が大切であるという認識はあまり強く持たれていませんでした。国では「食育」を重要課題としてとらえ、国民的な運動として推進していくため、平成17年に「食育基本法」を制定しました。それ以降「食育」という言葉が広く用いられるようになっています。



2. 学校給食法の改正も

この法律では、「食育」は、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるこことされています。また、特に子どもたちに対する食育について、「心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育んでいく基礎となるもの」と強調しています。

また、平成20年には、学校給食の主な目的を「栄養改善」から「食育」に転換する学校給食に地場産物や郷土の伝統食などを取り入れる食育を推進する栄養教諭の役割を明確にする

食中毒防止策など衛生管理を徹底することを主なポイントとする学校給食法の改正が行われ、平成21年4月から施行されました。



3. 平取町の学校給食

この間、平取町では、病原性大腸菌O-157による食中毒が各地で発生した平成7年に、紫雲古津小学校、二風谷小学校、貫気別小学校の3校に「給食室」を設置して「自校方式」の学校給食が始まりました。振り返ってみるとこの選択は「成長のために必要な栄養の不足する子どもの栄養改善」のための学校給食から、「社会の変化や食に対する無理解に対応する学校給食」への素地を築く貴重な選択であったと思われます。

また、平成20年度からは栄養教諭を配置し、「栄養教諭を中心とした食育推進事業」検討委員会を設置、平取小学校と貫気別小学校を「実践中心校」に指定して学校、地域関係機関・生産者、家庭と連携した食育の推進を図っているところです。



4. 栄養教諭を中心とした学校教育での食育推進の第一歩

栄養教諭が町内全9校を訪問し学級担任と連携し、また、授業を含めて直接指導に当たるとともに、「食に関する指導の全体計画」を作成し、校内指導体制の整備を図る中で、全教職員の共通理解の下、食育の推進に取り組むことが意識されるようになりました。

= 食に関する指導の目標 =

- | | |
|-------------|--|
| 【食事の重要性】 | 食事の重要性、食事の喜び・楽しさを理解する。 |
| 【心身の健康】 | 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の取り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。 |
| 【食品を選択する能力】 | 正しい知識・情報に基づいて食物の品質及び安全性などについて自ら判断し、自ら管理していく能力を身につける。 |
| 【感謝の心】 | 食物を大事にし、食物の生産にかかわる人々への感謝する心を育む。 |
| 【社会性】 | 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。 |
| 【食文化】 | 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史などを理解し、尊重する心をもつ。 |

(平成21年度 学校経営の概要「平小の教育」より)

5. 木製汁椀をとり入れた給食の取り組み

平取町の給食用食器はすべて「強化磁器」を使用しており、熱いものを入れると持てないほどになってしまいます。それで熱伝導が遅く、きちんと持てて良い姿勢で食事することができる木製汁椀の導入についての検討をしてきました。ただ、木製汁椀は軽くて割れやすく、かさばってしまい、食器洗浄機や熱風消毒に耐えられるかも大きな課題でしたが、既に木製食器を使用している置戸町の実践を参考にするなどして平成21年度は平取小学校、貫気別小学校で導入に踏み切りました。

実際に取り入れてみると配膳台の場所を以前より広く確保する等の改善の必要が生じましたが、栄養教諭がクラスで椀の持ち方や持つことの意味などを指導するとそのことが家庭でも話題になるなど実践の効果が表れ、伝統的な食文化や食事のマナーについて体験的に理解を深めることができました。今年度は全小学校で木製汁椀の実践を進める予定です。

このほか、学校教育に限らず「食育キッチン親子料理教室」「いきいき通学合宿」等の事業でも栄養教諭の出番は多くなり、事業の中で生まれたネットワークを生かした継続的な体験活動の定着や教科等と連携した効果的な学習活動の充実が期待されているところです。



6. ちいさな一歩がこの町の未来に

食育基本法はまた「食育は、父母その他の保護者にあっては、家庭が食育において重要な役割を有していることを認識するとともに、子どもの教育、保育等を行う者にあっては、教育、保育等における食育の重要性を十分自覚し、積極的に子どもの食育の推進に関する活動に取り組むこととなるよう、行われなければならない。」としていますが一朝一夕で解決が図れる問題ではないといえます。「カロリーをどれだけ、ビタミンをどれだけ摂れば健康になる」といったようなマニュアル化された生活にとらわれることではなく、「食」をしっかりと見直し、食べる意味を考えて食べることができるかということが第一歩であり、また、食料自給率全国40%（カロリーベース）に対して約200%の水準に達している北海道の農業の町に住む私たちにとって、食育のゆくえはこの町の未来、この国の未来につながる意味をもっているようにも思えます。



教育委員会からのお知らせ

生きがいとやすらぎを求め 高齢者の学習がスタート

～平成 22 年度高齢者大学合同入学式～

中央公民館 4月 23 日（金）



本年度は振内高砂 39 名、貫気別明生 23 名、平取義経 22 名の計 84 名による学生生活がスタートしました。

斎藤名誉学長（教育長）の式辞、川上町長からの祝辞に続き、学生を代表して高砂大学の廣田綽万さんが挨拶に立ち、大学生活の過ごし方や学びに向けた意気込みを述べました。学生の皆さんには、これから始まる 1 年間に意欲を膨らませていきました。

この大学は、満 60 歳以上の方々が長寿社会の中で確かな生きがいとやすらぎを求め、時代の流れとともに必要となる知識や技術の習得のため、活動や研修を行っています。途中入学もできますので、少しでも興味を持たれた方は生涯学習課社会教育係（☎ 2-2619）までお問合せください。

各スポーツ少年団の大会結果

平取義経剣心会スポーツ少年団

第 40 回交歓剣道大会

期日 平成 22 年 2 月 21 日（日）

場所 新ひだか町静内体育館

成績 個人戦

【小学生 1・2 年男子】 優勝 小山 和馬

【小学生 1・2 年女子】 優勝 木村 朱稀

第 3 位 木村 萌

【小学生 3・4 年男子】 準優勝 小山 椎名

【小学生 3・4 年女子】 優勝 木村 有稀

準優勝 安田 千幸

団体戦

【小学生 1・2 年】 準優勝 平取 A チーム（木村 朱稀、木村 萌、小山 和馬）

【小学生 3・4 年】 優勝 平取 A チーム（木村 有稀、木村 裕斗、小山 椎名）

【小学生 5・6 年】 第 3 位 平取 A チーム（安田 千起、互野 友裕、小山 哲汰）



バドミントン少年団

第 11 回全道小学生 ABC バドミントン大会苫小牧地区予選会

期日 平成 22 年 4 月 25 日（日）

場所 苫小牧駒澤大学体育館

成績 男子

【1・2 年生の部 シングルス】 優勝 小向敦士（貫気別バドミントン少年団）

【5・6 年生の部 シングルス】 優勝 鵜野立堂（平取本町バドミントン少年団）

女子

【3・4 年生の部 シングルス】 準優勝 小向恵夢（貫気別バドミントン少年団）

【5・6 年生の部 シングルス】 準優勝 二谷早咲（貫気別バドミントン少年団）

第 44 回苫小牧民報杯中学生大会

期日 平成 22 年 5 月 1 日（土）

場所 苫小牧市総合体育館

成績 男子 【シングルス】 優勝 木村 尋斗（貫気別中学校）

第 3 位 二谷 優吾（貫気別中学校）

女子 【シングルス】 第 3 位 大塚 麻由（平取本町バドミントン少年団）

【ダブルス】 第 3 位 工藤 美咲、原田 一美（平取本町バドミントン少年団）

図書館へいこう

☆開館時間

火～金曜日 10:00～18:00

土・日曜日 10:00～17:00

☆休館日

月曜日休み、月曜日が祝日の場合は
月曜日と翌日が休みとなります

5月

日	月	火	水	木	金	土
1						
2	③	④	⑤	⑥	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑯	18	19	20	21	22
23	㉔	25	26	27	28	29
30	㉗					

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5		
6	⑦	8	9	10	11	12
13	⑯	15	16	17	18	19
20	㉑	22	23	24	25	26
27	㉗	29	30			

※□は休館日です。

It's New!

新しい本が入りました

ここに掲載されたもの以外にも、たくさんの方がありますので、お気軽に図書館（☎ 4-6666）までお問合せください。

あなたの一冊のお手伝いをします。

【小説・エッセイ】

『存在の美しい哀しみ』 / 小池真理子



『空が割れる』 / 藤田宜永

『白と黒が出会うとき』 / 新堂冬樹

『もう二度と食べたくないあまいもの』

／井上荒野



『不等辺三角形』 / 内田康夫

『赤い森』 / 折原一

『指定席』 / 赤川次郎

『ちいさな言葉』 / 俵万智

【社会・その他】

『新聞が消える』 / アレックス・S・ジョーンズ

『大切な人をどう看取るのか』

／信濃毎日新聞社文化部

【家庭】

『糸子先生のキルト入門』 / 遠藤亜希子

『エコクラフトの素敵なかばくとかご、プチ雑貨』

／古木明美

図書館からのひとこと

「全国訪問おはなし隊」がやってきます。

キャラバンカーに絵本を積んで、日本全国を巡回している、講談社の「全国訪問おはなし隊」が来町します。キャラバンカーに乗り込んで、たくさんの絵本を見た後は、楽しいおはなし会が始まります。ご家族そろってご参加ください。

期日 6月12日(土)

場所 ふれあいセンターびらとり

時間・内容

- 午後3時～3時30分 キャラバンカー見学
(ふれあいセンター駐車場)
- 午後3時35分～4時5分 おはなし会
(1階小会議室)

来場のお子様にはお土産を用意しています。
事前申込みは不要です。

10代の人を中心におすすめしたい本
『きみが見つける物語 ティーエイジ・レボリューション』
／あさのあつこ他

10代の頃に出会った人、別れた人。
始めたこと、やめてしまったこと...。痛くて
切なく美しい10代の日々を描いた一冊。
あさのあつこの他、角田光代、森
絵都など、少年少女小説の名手たち
が贈る青春小説集



児童書

【小学校低学年向け】

『かさをかしてあげたあひるさん』
／村山籌子



傘を貸してあげたあひるさん、川
へ落ちたたまねぎさん、お鼻をかじ
られたおねこさん...。ゆかいな動物
や野菜たちが泣いたり笑ったり、に
ぎやかな17篇の童話集。

【小学校中学年向け】

『なんでももてる(?)男の子』
／イアン・ホワイブラウ

「これ以上、何がほしいか、わから
んないよ!」ナンデモモッテル家の
一人息子・フライが誕生日に出会った
「ほしいもの」とはいったい?わ
くわくする挿絵がたっぷり入った
楽しい物語。



【小学校高学年向け】

『ウェイサイド・スクールはきょう
もへんてこ』 / ルイス・サッカー

30の教室がならぶ平屋の校舎にな
るはが、ちょっとした手違いで
建ったのは、ひとつの階にひとつの
教室、ひょろひょろの30階建ての校
舎?へんてこな学校を舞台にした連作短編集。



絵本

『王さまライオンのケーキ』
／マシュー・マケリゴット



『ねこじたなのにお茶がすき』
／ささめやゆき

『ひっこしたいさくせん』 / たしろちさと
『みんなで!どうろこうじ』 / 鈴木まもる

～みんなのまちづくり活動を応援～

町民税 1% まちづくり事業が決まりました！

昨年度から始まった「町民税 1% まちづくり事業」に、今年も様々なアイディアが寄せられました。応募された内容は、まちづくり会議の委員にて審議されたのち、町へ答申されて町長が 9 つの「まちづくり活動」に対する助成を決定しました。

日本ハムファイターズフィールドクラブ事業 【日本ハムファイターズ平取後援会】

日本ハムファイターズの O B 選手による少年野球教室を開催し、人との触れ合いの大切さや夢への挑戦する姿勢を育成する事業です。



炭窯プロジェクト事業 【炭焼きし隊】

炭窯を作り、間伐材などを炭材として地域の行事へ炭を提供したり、炭焼き経験者による炭焼き体験などを行う事業です。

アイヌ文化の理解と啓発事業 【北海道アイヌ協会平取支部青年女性部】

アイヌ文化の理解と啓発を図るため「アイヌ・アート・プロジェクト」を招聘し、音楽芸能の公演を開催する事業です。

振内地区への新規就農者受入事業 【ふれない就農者受入協議会ネオフロンティア】

振内地区へ就農者を受入れて地域の活性化と担い手の確保を図り、実習・栽培指導や就農地の斡旋や広報活動をする事業です。

一人暮らしの高齢者に愛の手を !! 事業 【ボランティアサークル愛】

一人暮らしの高齢者が幸せに暮らすために、ふれあい広場への協力と参加や、お餅宅配と声かけなどを行う事業です。

高齢者による休憩所建設事業 【小平老人クラブみどり会】

生活館の広場に、子供やゲートボール愛好者など、たくさん的人が利用できる休憩所を高齢者が手作りで製作する事業です。

食と文化 びらとり P R プロジェクト事業 【かえーる CLUB】

サッポロファクトリーで平取食材の料理や特産品 P R、町内で「食と文化ツアーア」を開催することで町の活性化を図る事業です。

ジャズフュージョン「平取ライブ !!」事業 【平取ジャズフュージョンクラブ】

ジャズやフュージョンなど、プロミュージシャンの演奏を低料金で楽しんでもらうためのコンサートを開催する事業です。

びらとりホタル再生事業 【びらとりホタルの会】

ホタルを人工の飼育施設で養育し、放流と生態の研究や水辺と観賞場所の調査、ホタルについての普及啓発を図る事業です。

この 9 つの事業のうち、から の事業は、新しい試みであったり、地域への貢献度が高いなどが評価されて採択されました。また、から の事業は、昨年度も採択を受けて実施している事業ですが、参加者の評判が良かったり将来性が高いことが評価されて採択されました。なお、これらの「まちづくり活動」として創意工夫されて採択された事業は、今後、助成申請を受けて実施されることとなり、来年の 3 月までに町へ成果が報告されることになっています。

すこやかだより

—保健福祉課—

健康なのにどうして人間ドックを受けなければならないの？

ある日突然、病気が見つかると、「全く健康だったのに、どうして病気にかかるてしまったのか」と嘆く人が少なくありません。しかし、大半の病気は急に発症するのではなく、自覚症状がないときから徐々に進行し、気づいた時にはかなり進んでしまう場合があります。

「仕事が忙しくて」などと色々な理由をつけて、医療機関を遠ざけてしまうことがあります。このような状況に陥らないためにも、人間ドックでは定期的に健康度をチェックし、病気の有無を確認します。

幸い、病気が見つかっても、現在の日常生活の状況から将来どのような病気になる可能性が高いか予測することができるので、生活習慣の改善など病気の予防に役立てるることができます。

また、病気が見つかっても自覚症状がない早期の段階であれば、大事に至らないうちに治すことができます。

「このように、病気を予防したり早期に発見することが目的で、いつまでもすこやかに過ごすためにミ三人間ドックを受診してください。」



『特定健診』『後期高齢者健康診査』『ミニ人間ドック』のお知らせ

今年度も『特定健診』『後期高齢者健診』と『ミ二人間ドック』を実施します。

《特定健診・後期高齢者健康診査の受診券》

歳～75歳未満の方には特定健診受診券を。後期高齢者医療

制度加入の方は後期高齢者健診受診券を発行します。

医療の際 保険証と医療券が必要となりますので、ご持参ください。

○実施時期
決まり第、「三月三日」

お知らせします
健診内容等 下記参照

■ 健診內容

健診名	対象者	健診内容	料金
特定健診	40～74歳の町民で、 国民健康保険加入者	身体測定、腹囲、血圧、尿検査、血液 検査、診察 * 血液検査内容 中性脂肪、HDL、LDL、GOT、GPT、 γ-GTP、空腹時血糖、HbA1c、総コ レステロール、尿酸、クレアチニン	1,000円
後期高齢者健診	75歳以上の町民	特定健診内容に血清アルブミン追加	600円
ミ二人間ドック	30歳以上の町民	後期高齢者受診内容に視力、眼底、検 便、胸部X線、心電図、胃バリウム、 腹部超音波、頭部CTスキャン追加	10,000円 ※特定健診と併せて受診 しても10,000円 ※後期高齢者健診と併せ て受診した場合9,600円

※C型肝炎ウイルス検査は700円、胃カメラ検査は5,000円の追加料金が発生します。希望の方は、申し込み時にお伝えください。

※介護認定を受けていない65歳以上の方には、生活機能評価があります。



△こぶしの木（5月17日—セウ・エコランド）
びらとり各地域で草花が芽吹き、桜やこぶしの花はまるで地上の花
火のように、色鮮やかに咲き誇っています。



桟の実俳句

死語増えて 昭和遠のく花は葉に
切傷の特効薬の蓬かな

旅好きの亡夫と共に花ロード
毛たんぽば風に任せ新天地

青葉風保育所の窓全開す

豊作を占う辛夷探しをり

過疎すすむ村に二軒の鯉幟

逞しき力いただく牡丹の芽

孫去りてより尾を下げる鯉幟

はは偲び摘みし蓬の香り立つ

花吹雪まだ諦めぬ夢に降る

すり切れたジーンズの膝花冷えす

柴田 紫梢

内海アヤ子

吉野千佳女

清水 真子

西塔しげえ

渡辺 正子

山崎 喜峰

石森 礼子

中道 サト

遠藤 紫光

熊谷 厚子

井内 青風

人 口	5,665	(43)
男	2,739	(23)
女	2,926	(20)
世帯数	2,601	(37)
外国人登録数	125	

()内は前月比 4月末現在